

# 三河静岡

●三河支社  
岡崎市明大寺町  
寺東5-3  
鈴熊ビル  
0564(52)2260  
FAX  
0564(54)2336

●刈谷支局  
刈谷市相生町2-1  
11佐藤会計ビル  
0566(21)6106

●三遠支社  
豊橋市萱町21  
佐藤ビル3階  
0532(54)2668  
FAX  
0532(35)7100

## 明日香総業

# 大型施設の漏水調査拡大

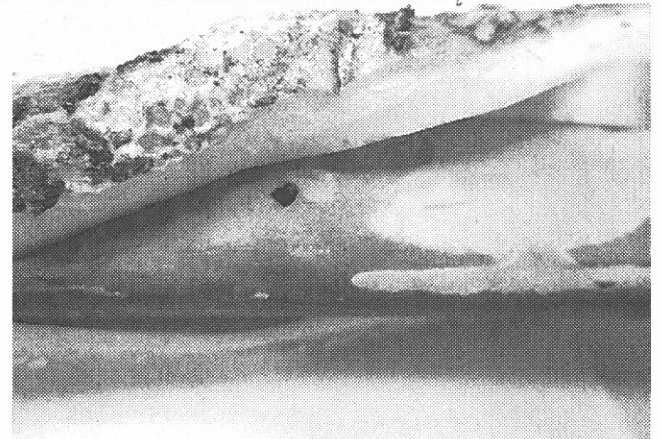
## 専門工法で配管劣化発見

漏水調査、設備工事業の明日香総業(本社豊川市美園、長島社長、電話0533・78・2351)は、会社や工場、学校、病院、集合住宅など大規模施設の漏水調査受注に力を入れている。配管の劣化が進んでいる高度成長期に建てられた施設などを中心に開拓し、年間30件の受注をめざす。



長島社長

同社は、「大切な水資源を無駄なく利用してほしい」(長島社長)との思いから、2009年に関係会社でLPGガス販売、給排水衛生設備工事のナガシマ(本共同、同社長)の事業を分離独立して設立した。



配管の被覆の中にあるトンホール

建築後10年以上経つと、給排水管はサビや腐食などの影響で劣化が進んでくる。特に、地中に埋設された配管は、水漏れが起きていても気がつかないケースが多い。

漏水量が毎分

(豊川・横井清)

10以上の場合、水道料金が急増するほか、水濡れしているなど漏れた箇所を特定しやすい。しかし、毎分1リットル以下の場合には「通常の

調査では見つけにくく、長期間漏水が続いてしまう」(同)という。

調査工法は①管路に伝わる音による「音聴調査」②金属管探知機で管に電気信号を送り調べる「管路探査」③管路の2地点にセンサーを置き漏水の摩擦音の音波が届く時間差により特定する「相関式漏水探知機調査」④空気式の相関式漏水探知機調査、路面にセンサーを置き調べる「路面音聴」⑤特殊なガスを管路に注入し漏れた場所を特定する「トレーサーガス漏水探査機調査」を導入。用途に合わせて工法を使い分け、難し

い環境でも非破壊で漏水箇所を発見できる。

一般家庭の宅内調査では年間50〜100件の実績がある。近年は学校、プール、工場、事務所、マンション、オフィスビル、ホテルなど大規模施設からの受注が増加。14年の受注は約10件、今年は9月まですでに10件を超えている。

特に、トレーサーガスによる探査工法は取り扱う事業者が少ない。工事にかかる費用削減や期間短縮できることなどを企業や公共機関にアピールし、受注拡大につなげていく方針。